

会員数	35,900	(前月比) +110
郵送	8,636	(前月比) + 5
手配り	25,038	(前月比) +105
協同基金到達額	2,448,663,000円(9/30現在) [前月比 -7,190,000]	
協同基金出資者数	12,476名(9/30現在)	
いのちを守る助け合い募金額	8,372円(9/1~30)	



訪問行動に行ってきたーす

ファミリークリニックブロック



ファミリークリニック玄関前行動

南花田支部では毎週月曜日にファミリークリニックで玄関前行動をしています。新金岡支部では毎月一回玄関前行動をしています。ブロックとして取り組んだ9月5日の訪問行動では訪問前にカリーの炊き出しがあり、参加した会員さんや職員に大好評でした。

月間中、毎週月曜日はブロックで、その他は各支部で曜日を決めて高石診療所で玄関前行動を取り組んでいます。ブロックで訪問行動も取り組んでいます。

高石ブロック



高石診療所玄関前行動

各ブロックでいきいき行動中

健康で住みよいまちづくりめざして



高砂クリニック玄関前行動

月間中、毎週月曜日と金曜日に総合病院と高砂クリニックで玄関前行動を取り組んでいます。総合ブロックの7つの支部で曜日を決めて、担当を決めて職員も一緒に参加して取り組んでいます。10月9日高砂クリニックで行った玄関前行動では4人の入会があり早速成果をあげました。各支部拡大の目標に向けて必死に取り組んでいます。またブロックで統一の訪問行動もしています。

総合ブロック

月間中、鳳クリニックで玄関前行動を行っています。11月はほぼ毎日玄関前行動を予定しています。ふくいすみ支部と鳳支部が担当支部として、和泉支部と一緒に3つの支部で活動しています。来院された患者さんが未入会かどうか職員と情報を共有し連携して行動を取り組んでいます。ブロックで統一行動にも取り組んでいます。

鳳ブロック



鳳クリニック玄関前行動



地図を片手に訪問へ

月間中、ブロックとしての活動はまだ計画されていませんが、泉ヶ丘西支部では年間で全ての会員さんのお宅に訪問しようという月に二回訪問行動を行っています。患者さん訪問も並行して行い会員の拡大に励んでいます。

南区ブロック

聴診器

「徴兵制がいつかは導入されるのでは」「安保法案が理解できない」といった声が女性誌編集部に寄せられた。「週刊女性」の編集長は、瀬戸内寂庵さんと吉永小百合さんが、戦争や安倍政権への危惧を語って大きな反響を呼んだ、あの対談に背中を押されたと話します。「女性自身」は「戦争法案」とニッポンの行方」と題して10ページの特集を組み、売り上げが3〜4%上昇。その他「セブンティーン」や「VERY」も……。これらを「朝日」は「女性誌も安保に注目」との大見出しで8月に報じています。一方では安保法(戦争法)の可決後も連日抗議のデモが続き、「法」が成立した後の世論調査(朝日)でも「審議尽くされず」が75%と、ここでも政権への批判が示されています。先の国会で安倍首相は「徴兵制はない、それは憲法で禁じられている」と答弁しています。が、憲法をないがしろにする張本人が憲法を持ち出しても説得力はありません。この11月1日は「灯台記念日」。灯台は灯火を照らし、霧笛を鳴らすなどして船舶の安全を守ります。今、私たちは政権に対して大きく警笛を鳴らすときだと思えます。(八田兄一)

共同組織強化月間

10月11日は共同組織拡大・強化「月間」です。新しい仲間を増やそうと、友の会と同仁会の職員が協力して月間行動を取り組んでいます。各ブロックの取り組みを紹介いたします。